



日本の精神科医療を考えるシンポジウム

《開催要綱》

【目的】

うつ病、統合失調症、神経症性障害などの精神疾患は「現代病」といわれるほどに激増しています。厚生労働省が3年ごとにまとめている「患者調査」によると、2014年の精神疾患患者は392万人と過去最高の数字になっています。前回調査時（2011年：320万人）から3年間で70万人増えました。（1999年の調査では、204万人。過去15年で患者数はほぼ倍になっている。）

このような状況の中、地域医療の基本方針となる医療計画に盛り込むべき疾病として、指定してきたがん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の4大疾病に、新たに精神疾患を加え「5大疾病」として、2013年度から国民に広く関わる疾患として重点的な対策が求められています。

「精神科医療」がより身近な医療サービスとして、必要な時代の中、「日本の精神科医療」については、「長期入院患者さんが多い」、「病棟の人員配置が少なく低コストで運営されている」など、諸外国が病床数を減らし、精神障害者の地域生活支援に政策変更したあとも、日本では精神科病床数の増加が続き世界の病床数の5分の1を占める状態となっています。昨今では「入院患者の身体拘束」や「監禁事件」による死亡事故が、社会問題としてクローズアップされました。患者や家族が何に悩み、どんな解決策が求められているのか、ひとりひとりが考えるべき時期にきています。

今回開催するイベントを通して、『支援する側支援される側の枠を越え』さまざまな方々がつながり、「安心して心をやむことのできる社会」を構築するきっかけになれば幸いです。

主 催 : 日本の精神科医療を考えるシンポジウム実行委員会

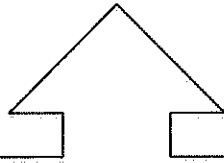
共 催 : 精神科医療の身体拘束を考える会
全国精神障害者地域生活支援協議会
沖縄県精神保健福祉会連合会

日 程 : 平成30年10月27日(土) (9時半受付)10時～12時

会 場 : 沖縄国際大学3号館 202教室
宜野湾市宜野湾2-6-1

参加費 : 当事者、家族、学生 無料
一般 1000円

問い合わせ : 098-988-8151 (宜野湾市地域活動支援センターはぴわん内)



このまま FAX 送信して下さい (かがみ不要)

098-943-5545

日本の精神科医療を考えるシンポジウム実行委員会事務局 (はぴわん内)

日本の精神科医療を考えるシンポジウム

【参加申込書】

	名前	参加区分	連絡先	所属または 職 種
例	山田太郎	当事者 家族・一般	098-123-4567	はぴわん
1		当事者・家族・一般		
2		当事者・家族・一般		
3		当事者・家族・一般		
4		当事者・家族・一般		
5		当事者・家族・一般		
6		当事者・家族・一般		
7		当事者・家族・一般		
8		当事者・家族・一般		
【備 考】				

E-mail : hapiwan@atbb.ne.jp

問い合わせ : 098-988-8151 (支援センターはぴわん)

日本の精神科医療を 考えるシンポジウム

主催：日本の精神科医療を考えるシンポジウム実行委員会

共催：精神科医療の身体拘束を考える会
全国精神障害者地域生活支援協議会
沖縄県精神保健福祉会

平成30年10月27日（土）

沖縄国際大学3号館 202教室

10時～12時（受付9時半～）

当事者・家族・学生／無料

一般／1,000円（資料代）



世界の病床数の5分の1が 日本の精神科病床数であることを ご存知ですか？

精神科医療の基本は対話です。相談に来た一人一人の
人と向き合い、話を聞き、理解に努め、自分の考え
を伝える。

ことばに傷つき、孤立し、自暴自棄になって受診す
る人、自分を追い詰めて衝動的になった状態で受診す
る人が多くいます。そこには必ず、対話の喪失、対話
の可能性への信頼の損失がみられます。

精神科病院への入院は、本人がどんなに抵抗
しても強制的に行われることも多く、さらに入院
すればそこが閉鎖病棟で容易に外に出られない
状況だったりする。そもそも、医療者と患者さん
がよい関係性を築きにくい状態にある。少なく
ともスタート地点はそうである。



長谷川利夫

杏林大学 教授

精神科医療の
身体拘束を考える会
代表



オリブ山病院 副院長

精神科医師 横田 泉



日本国民の5人に1人は一生の間に何らかの精神疾患になる状況です。
なぜでしょう？

普段の暮らしの中で、身近な医療サービスとして精神科医療が必要な時代に
なりました。だからこそ「日本の精神科医療」について考えてみませんか？

9:30 受付

10:05 基調報告① 「精神科医療の身体拘束」
講師：杏林大学 教授 長谷川 利夫

10:35 基調報告② 「精神科医療と暴力」
講師：オリブ山病院 副院長 横田 泉

11:05 休憩 (5分)

11:10 シンポジウム
「安心できる精神科医療サービス実現に向けて」

パネリスト：横田 泉
長谷川 利夫
精神障害当事者

11:55 アンケート



沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1
(会場) 沖縄国際大学 3号館 202教室

参加希望の方は
別紙 (FAX) にて
右記番号へ送信して下さい

(連絡先) 日本の精神科医療を考える
実行委員会事務局 (はぴわん内)
(FAX) 098-943-5545
(TEL) 098-988-8151